



巻頭言

新年を迎えて

茨城県知事 岩上二郎
茨城県統計協会総裁

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

まず215万県民のみなさまがお元気でよい新春を迎えられたことを心からお祝いいいたします。

ご承知のとおり、飛躍的に成長したわが国の経済は、昨年のドル防衛の措置により幾多の困難な事態に直面いたしました。

このようななかにあつて、本県の歩むべき道を静かに思索し、新たな観点から経済、社会の開発、さらには地域開発の展開をはかつていかなければなりません。

こうした考えを基調に本県ではさきに昭和60年度を展望する「茨城県新総合振興計画」を策定し、「緑と空間と人間集団の調和」をめざし、すべての県民が健康で文化的な生活を享受できる郷土づくりの実現にとりこんでおります。

みなさまご存知のとおり、幸い本県は、肥よくな大地、豊富な水資源、さらにゆたかな緑などと、自然環境にきわめてめぐまれております。

このすぐれた自然環境を保全しつつ調和のとれた経済社会の開発を進め、卓越した県民の英知を結集して「考え、計画し、行動する県政」を推進することによつて、先進県への飛躍の悲願を実現してまいりたいと考えております。

それには、まず真の茨城の姿を記録した統計の整備が緊急と存じます。

昨年は、県民のみなさまのご協力と、調査員各位のご尽力を得て就業構造基本調査をはじめ、全国物価統計調査、人口分布変動実態調査等多くの大きな調査が実施されました。

これらの調査結果は今後県政の指針として重要な役割を果たすことを期待しております。

本年はさらに、これらを補完する統計を整備し、情報化時代にふさわしい充実した統計を整えて、県政の施策のうえに活用してまいる所存であります。

輝かしい飛躍の年を迎えるに当たつて、県民のみなさまの変わりないご協力をお願いするとともに、統計関係のみなさまのいつそのご研さんと、ご活躍をお祈り申し上げます。